

「すぐ」使える手話講座

手話は言語です。日常で簡単に使える手話を紹介します。今回は、東京デフリンピックの手話です。皆さんも使ってみてください。

東京
 両手を指文字の「レ」の形にさせて、上に2回上げます。



デフリンピック

- ①左右それぞれの親指と人差し指で輪を作る。
- ②右手の中指・薬指・小指の指先を上にした輪と、左手の指先を下にした輪を重ねる。
- ③上下反対にする（左手の指先を上にした輪と右手の指先を下にした輪を重ねる）。



次回の手話講座は、広報つるが1月号（12月9日発行）で掲載します。お楽しみに！

澤崎さんの 韓国東海市ダイアリー



姉妹都市の韓国東海市へ研修職員として派遣されている澤崎南美さんが、東海市での研修や生活の中で経験したしたこと、感じたことなどを毎月掲載していきます。



8月は、東海市で一番大きな海水浴場である望祥海水浴場内にある観光課の臨時事務室や体育施設の管理運営・青少年の体育教育に関する事務などを行う体育教育課で研修を受けました。望祥海水浴場では、お客さんが安全に楽しく海水浴を楽しむための取り組みなどを学びました。

体育教育課では、東海市が所有する柔道チームの練習場を見学しました。韓国では地域振興や都市のブランド力



▲柔道チームと共に

向上のため、自治体でプロスポーツチームを所有するケースが多いそうです。東海市の柔道チームの監督は元韓国代表チームの監督をされていた方で、東海市のチームから韓国代表選手が出ることもあるそうです！

10月31日金には東海市紹介番組をRCNと敦賀FMで放送予定ですので、お楽しみに！



今年もにぎわう一大イベント

9月2～4日 敦賀まつり

敦賀に秋の訪れを告げる「敦賀まつり」が開催されました。初日は「宵山巡行」が行われ、宵山の上で、子どもたちが笛や太鼓による囃子に合わせながら華麗な踊りを奉納しました。2日目は氣比神宮のご神体を奉った神輿が街を練り歩く「御鳳輦巡幸」、マーチングや仮装・電飾パレードなど22団体による「カーニバル大行進」が行われました。最終日には、豪華絢爛な6基の山車による「山車巡行」、人間国宝である鶴賀若狭掾をお招きし、敦賀がルーツの江戸の粋、新内節に合わせて三味線を弾きながら浴衣姿で練り歩く「新内流しの夕べ」が行われ、会場周辺は祭り一色に染まりました。



ちえなみき開業3年で来場者数 100万人達成

9月20日 ちえなみき来場者数
100万人達成セレモニー

敦賀市知育・啓発施設「ちえなみき」の来場者数が、8月30日に100万人を達成し、記念セレモニーが行われました。100万人目の来場者となったのは、今西智彦さん家族3人（滋賀県長浜市）。セレモニーでは米津市長から記念品として敦賀の名産品などが贈呈されました。今西さんは、「カフェや本で遊べる親子のスペースがあって、何度も足を運んでいる。家族みんなが好きな場所。」と話していました。「ちえなみき」は令和4年9月の開業から3年を迎えた公設民営書店。ちえなみき店長の笹本早夕里さんは、「ここが目的で新幹線に乗って来たと言われる方もいる。何度来ても楽しめる空間づくりをしたい。」と話していました。



阿曾相撲甚句を披露する児童生徒 高校生らが奉納した赤崎獅子舞



五穀豊穡願い 踊りや舞い奉納

9月14日 阿曾相撲甚句
赤崎獅子舞

県無形民俗文化財に指定されている「阿曾相撲甚句」と「赤崎獅子舞」がそれぞれの区内の神社で奉納されました。阿曾相撲甚句は300年以上前から阿曾に伝わる踊りで、利根八幡神社で奉納されました。子ども相撲甚句では、市内小中学校の児童生徒ら7人が掛け声をかけながら軽快に踊りました。村岡幸憲さん（東浦中学校2年生）は「みんなとタイミングを合わせるのが難しかったが一致団結してできた。」と話していました。赤崎獅子舞は江戸時代からの歴史があり、赤崎の八幡神社で奉納されました。地元奉賛会の会員ら18人が6種の演目を披露しました。「高山の舞」を演じた森野創太さん（敦賀高校2年生）と森野煌冬さん（敦賀気比高校2年生）は「舞は難しかったがやり遂げることができて達成感がある。」と話していました。



音楽におぼれる2DAYS！！

9月13～14日 おぼろっく2025
～TSURUGA MUSIC FESTIVAL～

昨年に続き2回目となる音楽フェスがきらめきみなと館と市民文化センターのステージで開催され、計28組の人気アーティストが出演しました。市民文化センター前に特設された「つるが☆ステージ」では福井ゆかりのアーティスト6組がフェスを盛り上げました。Novel Coreファンの女性4人組（千葉、広島、大阪、仙台）や、青春ヶ丘俊光ファンの20代の女性3人組（市内2人、富山1人）など、県内外から多くのファンが訪れ、「初めておぼろっくに来た。ライブが楽しみ。」と笑顔で話していました。会場周辺では地元の食、全国の食を集めた飲食ブースも設けられ、参加者は敦賀ならではのフェス飯を楽しんでいました。



トップアスリートに学ぶ

9月9日 愛宕頼選手
母校で講演会

敦賀市出身で国内外で活躍する陸上男子100mの愛宕頼選手が母校の敦賀西小学校で4～6年生101人に速く走るコツを伝授しました。愛宕選手は松陵中へ進学後に陸上を始め、現在、東海大学の4年生。今年4月の出雲陸上男子100mでパリ五輪代表を抑え優勝し、大会MVPを獲得しました。講演では、「陸上競技を通じ特別な経験ができた。みんなにもいろいろなことに挑戦し、あきらめずに続けてほしい。」と後輩にエールを送りました。6年生の岡本遼祐さんは、「愛宕選手が教えてくれたコツを使うと速く走れた。愛宕選手の速さにびっくりした。」と話していました。